

漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成23年9月15日 発行
 毎月 1回15日発行
 編集兼発行人 社団法人 全国漁港漁場協会
 田中潤児
 東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階
 電話 東京(5114)9981
 定価 1部 70円
 (会員の購読料は会費の中に含む)

水産庁は、8月26日に兵庫県、岡山県及び香川県、播磨灘地区水産環境整備マスタープランを「水産環境整備マスタープラン」の第一号として承認した。

「水産環境整備マスタープラン」は、水産物の生活史に対応した広域的な海域において、生態系全体の生産力の底上げを目指し、水産物の動態及び生活史に対応した良好な生息環境を創出するために、漁場整備のマスタープラン。

播磨灘は、瀬戸内海東部に位置する好漁場であり、小型機船底引き網漁業、小型定置網漁業、刺

認定マークで差別化 25年度めどに運用開始

漁港漁場における品質・衛生管理対策

第4回漁港漁場の品質・衛生管理対策技術検討会(水産庁主催)が、8月4日、農林水産省会議室で開催された。

今回は最終の検討会で、これまでの議論をまとめ、事務局から示された「漁港漁場における品質・衛生管理対策について(案)」及び「新たな品質・衛生管理基準(指針)(案)」が概ね了承された。

これまで漁港における衛生管理の取り組みが進められてきたが、新たな課題として、魚価向上など水産物の付加価値

その上で、漁港漁場における品質・衛生管理の取組が消費地において認識され、評価されるための今後の具体的な方針として、品質・衛生管理の客観的な評価と認定ができる体制作りとこれからの取組を分けて、消費者に周知する認定マークが必要ではないかと提案している。

例えば、客観性を担保するために、個別地区からの申請に基づいて認定を行う認定委員会や国が策定した基準に基づいて審査を行い認定委員会に報告する審査機関など第

三者機関を活用して認定を行うことが考えられる。客観性を確保した上で、認定を受けた漁港漁場で取り扱われた水産物に認定マークを付与して

流通させ、他の水産物と差別化を図ることで、現場における品質・衛生管理の取組に対する適切な評価が定着するようになっていることと期待されている。

水産庁では、平成23年度内の新たな漁港漁場整備長期計画の策定にあたり、

播磨灘地区「マスタープラン」承認

水産環境整備の本格的な始動

網漁業等の漁業が営まれ、この「マスタープラン」では、以下の取組により、成長に伴い回遊しながら沿岸から沖合までの多様な環境を利用する

マコガレイの分布域等を考慮し、海域の特徴を生かした環境整備を行う。

②メバル、カサゴ等の定着性魚類の生態にも配慮した整備内容とする。

③モニタリング調査等の結果や新たな知見を事業に反映する順応的な取組を行う。

野田新内閣、鹿野農水大臣が再任

農林水産副大臣に岩本参院議員

2日に発足した野田新内閣の農林水産大臣に鹿野道彦(かのみちひこ)大臣が再任。また、政府は5日の臨時閣議で副大臣・政務官の人事を決めた。

鹿野大臣は昭和17年1月24日生まれ、69歳。衆



岩本副大臣



仲野政務官



森本政務官

全国から71人の高校生が参加

第10回聞き書き甲子園研修会が開講



いとうせいこう氏(左)が司会を務めるラジオ番組の公開録音も同時に行った

第10回聞き書き甲子園研修会開講式が、8月11日、午後1時30分より東京都現代美術館講堂において開催された。

昨年度までは、「森の聞き書き」と「海・川の聞き書き」の開催回数が増えることから、高校生

の募集もそれぞれ回数を記載して同時募集を行っていたが、応募する高校生において応募に際しての制約があるのか等の誤解が生じたこともあり、今年度は森の聞き書き甲子園が10回目を迎えることから、森・海・川の区分なく、第10回聞き書き甲子園」となった。

開講式が昨年度と違っていたのは、今年が「国際森林年」ということから、東京都現代美術館に

おいて開催されている「フレデリック・バック」に会場を合わせたことと、いとうせいこう氏が司会をつとめるラジオ番組「GREEN FESTA」の公開録音を兼ねて行ったことである。

なお、放送は9月5日及び12日の午後7時30分から文化放送にて放送済。

開講式は、全国から選ばれた71名の高校生と関係者が一同に会して行われ、聞き書き甲子園実行委員長より開会の言葉が述べられ、続いて主催者として林野庁及び文部科学省より挨拶が行われた。

引き続き聞き書きを行うという高校生に同行取材したドキュメンタリー映画「森の聞き書き」が上映され、これから実際に聞き書きを行う高校生は真剣

に映画に見入っていた。その後、ラジオ番組の公開録音となり、第一部は、いとうせいこう氏と石川アウンサーの司会により、「自然と向き合う新しい暮らし方」をテーマに、作家の塩野米松氏、文筆家の阿川佐和子氏、フレデリック・バック展の企画に参加した日本テレビの岩崎氏をゲストにトークが行われた。

第二部では、過去に聞き書きを行った卒業生2名がゲストとなり、聞き書きの難しいところや聞き書きを行った自分ごとについてトークが行われた。

開講式終了後、高校生達はバスに分乗して聞き書き実施に当たっての3日間の研修会へ出発した。

漁港漁場管理者研修会

水産庁が10月18、19日開催

水産庁では、平成23年度漁港漁場管理者研修会を10月18日(火)、19日(水)に開催する。

この研修会は、春と秋に開催しているもので、例年春は東京での講義研修、秋は地方において講義研修と視察を行っているが、今年度は東日本大震災の関係で、秋の一回のみ開催となったものである。

第1日(講義)
 場所=農林水産省7階講堂
 時間=午前9時30分~午後5時45分
 内容=漁港漁場管理担当者による管理に関する項目の説明

第2日(視察、希望者のみ)
 場所=千葉県銚子市保田漁港
 時間=午前9時~午後4時(予定)

代金=二千五百円(バス借上げ代)
 なお、視察については、当協会主催で行うこととしているが、視察も含めた研修会への参加の申し込みは水産庁計画課管理班に、9月28日(水)までに、9月28日(水)までに、管理者研修会の

11月に漁港漁場整備技術研究発表会

第10回全国漁港漁場整備技術研究発表会が、来る11月8日(火)及び9日(水)の2日間、徳島市のあわぎんホール(徳島県郷土文化会館)大会議室において開催される。

この発表会は、水産庁、徳島県及び(社)全国漁港漁場協会の共催により開催されるもので、初日が研究発表会、2日目が現地視察となっている。

初日の発表会では、基調講演をはじめ一般発表12題が予定されている。2日目の現地視察は、12時30分解散予定で徳島県内の関連施設を視察する予定である。

申し込みについては、必要経費は、テキスト代金が三千五百円、視察代金が二千五百円である。

プレジャーボートの放置艇対策で検討懇

水産庁及び国土交通省（海事局）水管理・国土保全局は、漁港・港湾・河川の3水域を対象に、放置艇の全国実態調査を実施しており、その一環として「プレジャーボートの放置艇対策に関する検討懇談会」を開催している。

第4回目の検討懇談会が、8月3日（水）午後2時30分より、千代田区海事センタービル8階会議室において、委員及び行政機関担当者並びに調査実施担当者等の関係者が出席して開催された。懇談会では、①平成22年度プレジャーボート全国実態調査結果、②「プレジャーボートの適正管理及び利用環境改善のための総合的対策に関する推進計画」（案）について検討が行われた。

22年度の全国実態調査によると、約19・7万隻のプレジャーボートのうち、半数に当たる約9・9万隻が放置艇であり、そのうち約23%が所有者不明船である。前回調査時（18年）のプレジャーボート隻数21・7万隻（内放置艇11・6万隻）に比べ、隻数は9%減少しているが、依然としてその半数程度が放置艇という実態である。

次に、今回重点的に検討が行われた、「プレジャーボートの適正管理及び利用環境改善のための総合的対策に関する推進計画」（案）では、今後10年間で3段階に分け、全国実態調査を3回（中間評価2回、最終評価1回）実施し、10年後には放置艇をゼロにすることを目標としたロードマップが示されたが、これに対する意見が多数出され、国・都道府県・市町村が協力して目標達成のために努力することが大

来年度予算に向け提案 中・四国漁港漁場団体協議会



協議会には9県から31名が出席



五日市漁港フィッシャリーナを視察

第36回中・四国漁港漁場団体協議会が、8月18日午後3時30分から広島市の「ホテル八丁堀シャングレ」で鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知の9県31名の関係者が出席して開催された。

冒頭挨拶に立った田中達美広島県漁港協会会長（江田島市長）は、「第二次漁港漁場整備長期計画は最終年を迎えているが、本年度の水産基盤整備事業関係予算は前年に比べ大きく落ち込み、今後の予算確保についても非常に不透明な状況にある。安全・安心な水産物を国民に供給し続けるには

水産業の根幹をなす水産基盤の整備が重要であり、当該協議会としても第二次漁港漁場整備長期計画が積極的に推進されるよう、これまで以上に各県の連携を深め活動していきたい。

東日本大震災では、漁港、漁船、養殖施設等には市場、加工施設が甚大な被害を受けた。広島県としても、カキ養殖資材の提供や養殖技術者の派遣など、被災地の漁業の早期復興に向けた必要支援を行って参りたい」と訴えた。

続いて、高吉晋吾水産庁漁港整備部整備課長、田中潤児（前）全国漁港漁場協会会長から祝辞が述べられた。田中会長を議長として

議事に入り、平成24年度予算編成等に対する要請活動に向けて（前）全国漁港漁場協会に提出する議題について、①漁港漁場整備事業の着実な推進と平成24年度予算の確保について（岡山県説明）

②漁港海岸事業の促進と平成24年度予算の確保について（徳島県説明）

③漁港漁場漁村環境整備事業の促進と平成24年度予算の確保について（愛媛県説明）

④国直轄のフロンティア漁場整備事業の着実な推進と平成24年度予算の確保について（鳥取県説明）

⑤地域自主戦略交付金事業における事務手続きの簡素化について（島根県説明）

津波等の災害対策について（山口県説明）

の六項目が提案され、了承された。

その後、来年度の第37回協議会が島根県で開催が決定された。

次に、各県協会から現在取り組んでいる特徴的な事業、活動について話題提供があった。

①第31回全国豊かな海づくり大会鳥取大会について（岡山県説明）

②日本海側の地震（津波）等を考慮した漁港整備のあり方について（野村興児山口県漁港漁場協会会長（萩市長））

③アマモ場造成について（本田恵一香川県農政水産部水産課課長補佐）

④環境・生態系保全活動について 太平洋南海域栽培漁業推進協議会の参加について（山本眞夫高知県漁港漁場協会事務局長）

び利用環境改善のための総合的対策に関する推進計画」（案）では、今後10年間で3段階に分け、全国実態調査を3回（中間評価2回、最終評価1回）実施し、10年後には放置艇をゼロにすることを目標としたロードマップが示されたが、これに対する意見が多数出され、国・都道府県・市町村が協力して目標達成のために努力することが大

総会・漁港大会を開催 兵庫県漁港協会

兵庫県漁港協会（会長 中田勝久南あわじ市長）の第60回通常総会及び第51回兵庫県漁港大会が、8月30日午後2時から南あわじ市の「うめ丸」において、県内各地から約160名の参加を得て盛大に開催された。

第60回通常総会においては、中田会長の挨拶、三浦恒夫兵庫農政環境部農林水産部長、田中潤児（前）全国漁港漁場協会会長の来賓祝辞の後、寺川光信沼

鳥漁協組合長を議長に選出して議事に入り、平成22年度事業報告及び収支決算、平成23年度事業計画及び収支予算案等を提案通り承認した。

引き続き開催された第51回兵庫県漁港大会では、山田隆義兵庫漁連会長の祝辞の後、西内正昭香美町副町長及び中田勝津名漁協組合長を議長に選出し、田沼政男林崎漁協組合長が大会宣言を行って議事に入った。

議事においては、一、「第三次漁港漁場整備長期計画の策定・推進」と漁港漁場整備促進のための平成24年度予算の確

坂井俊之会長らが再任 佐賀県漁港漁場協会総会

佐賀県漁港漁場協会（会長 坂井俊之唐津市長）は、8月26日、佐賀市の「ホテルマリタール」において、平成23年度通常総会を開催し、坂井俊之会長が挨拶を行った。

佐賀県漁港漁場協会（会長 坂井俊之唐津市長）は、8月26日、佐賀市の「ホテルマリタール」において、平成23年度通常総会を開催し、坂井俊之会長が挨拶を行った。

に入り、平成22年度事業報告及び収支決算、平成23年度事業計画及び収支予算を事務局提案どおり承認した。

また、役員任期満了に伴う改選が行われ、坂井俊之会長、秀島敏行副会長（佐賀市長）及び岸本英男副会長（玄海町長）がそれぞれ再任された。

中西宿毛市長が副会長に 高知県漁港漁場協会総会

高知県漁港漁場協会（会長 仙頭義寛香南市長）は、8月17日15時から高知市の「高知会館」において、平成23年度通常総会を開催した。

仙頭義寛会長の挨拶の後、橋本牧水産庁漁港漁場整備部長（代理・宇賀野）が挨拶を述べた。

仙頭義寛会長を議長として議事に入り、平成22年度事業報告及び収支決算、平成23年度事業計画

及び収支予算を提案どおり承認した。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、仙頭会長、藤田春雄副会長（芸芸漁業協同組合長）及び和義光副会長（須崎町漁業協同組合長）が再任され、新たに中西清二宿毛市長が副会長に選任された。

漁港漁場漁村海岸 写真コンクール 審査委員会を開催



審査の様子（橋本漁港漁場整備部長・右）と影山漁港漁村技術研究所理事（長）

建設技術センター理事 長、田中潤児（前）全国漁港漁場協会長の6名の審査委員により、全国から応募のあった写真448点について厳正な審査を行い、特選6点、入選5点、佳作10点の入賞作品候補を選定した。

入賞作品の発表は、本会ホームページ、機関誌「漁港」、全国漁港漁場漁村技術研究所理事 長、鹿田正一（水産土木

開催日	会場	主催
8月4日（木）	全国漁港漁場協会	田中会長は大分県へ出張
8月17日（水）	全国漁港漁場協会	中達美氏
8月25日（木）	広島県漁港協会	福田業務課長は和歌山県へ出張
8月26日（金）	全国漁港漁場協会	岩手県漁港漁村協会専務理事船越穂氏
8月28日（日）	全国漁港漁場協会	
8月30日（火）	全国漁港漁場協会	
8月31日（水）	全国漁港漁場協会	

水産庁 人事異動

【九月一日付】

【漁港漁場整備部への転入】整備課付（国土交通省国土政策局広域地方政策課調整室専門調査官）梅津啓史

【漁港漁場整備部内の異動】漁港漁場整備部防災課付（防災課課長補佐）濱崎宏正

【漁港漁場整備部への転入】整備課付（国土交通省国土政策局広域地方政策課調整室専門調査官）河本康秀

【漁港漁場整備部外への転出】国土交通省広域地方政策課調整室専門調査官（整備課付）粕谷泉

【漁港漁場整備部への転入】整備課付（国土交通省国土政策局広域地方政策課調整室専門調査官）河本康秀

【漁港漁場整備部への転入】整備課付（国土交通省国土政策局広域地方政策課調整室専門調査官）河本康秀